

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法後のデュルバルマブ療法の有効性と安全性に関する多施設共同後ろ向き観察研究
研究責任者	呼吸器内科医長・佐伯祥
本研究の目的・意義	<p>切除不能な局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法後のデュルバルマブ地固め療法は、第3相ランダム化比較試験の結果、有意に生存期間を延長させたことから、現在、標準治療となっています。しかし、多くの臨床試験では、全身状態不良であったり、重大な併存疾患や高齢者に関しては除外されて実施されることが多く、これらの臨床試験の結果が、日常診療の実態を反映しているかどうかは不明です。したがって、本研究は、日常診療における切除不能な局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法後のデュルバルマブによる地固め療法の有効性と安全性を評価すること目的として、実施いたします。さらに、探索的にデュルバルマブ地固め療法の有効性や肺臓炎などの有害事象に影響する因子について検討いたします。</p> <p>本研究の成果によって、切除不能な局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法後のデュルバルマブ地固め療法の治療実態や有効性・安全性に影響する臨床因子が明らかとなれば、日常診療で適切な治療選択を行う上で重要な情報となり、医療の発展に貢献できる可能性があります。</p>
研究予定期間	委員会承認後～2024年3月31日
該当資料・データ	<p>対象となる患者さま: 2018年7月～2022年3月までに熊本大学病院呼吸器内科、久留米大学病院呼吸器病センター、済生会熊本病院呼吸器内科、鹿児島大学病院呼吸器内科、人吉医療センター呼吸器内科、いまきいれ総合病院呼吸器内科で化学放射線療法を受けた非小細胞肺癌患者様</p> <p>利用する情報: 疾患背景、検査所見、治療に関する情報を収集し、解析を行います。</p>
個人情報の取扱い	<p>診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人情報を識別可能な症状を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ、研究機関毎に連結可能匿名化を行います。</p> <p>個人識別情報と付加番号の対応表は研究機関毎に作成し、各機関の個人情報管理者が厳重に管理し、共同研究機関並びに解析担当者には渡しません。</p> <p>データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。</p>
共同研究機関	熊本大学病院、久留米大学病院、鹿児島大学、済生会熊本病院、人吉医療センター、いまきいれ総合病院
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>電話: 096-370-3111(代表)</p> <p>担当者: 佐伯 祥(呼吸器内科)</p>